

令和5年度 第3回 新道区地域協議会 次 第

日時：令和5年6月27日(火)午後6時から
会場：新道地区公民館 多目的ホール

延べ1時間20分

1 開 会

【2分】

2 議 題

(1) 諮問事項 【20分】

- 上越観光物産センターの廃止について

(2) 協議事項 【40分】

- 地域活性化の方向性について

(3) 自主的審議事項 【10分】

- 今後の審議の方向性について

(4) その他 【5分】

3 そ の 他

(1) 次回開催日の確認等 【3分】

- 日時：__月__日(__)午後6時から
- 開場：新道地区公民館 多目的ホール
- 内容：地域活性化の方向性、自主的審議

(2) その他

4 閉 会

新 道 区 の
アイコトバ

- ◎ 発言は、簡潔に話そう！
- ◎ 発言しやすい雰囲気をつくろう！
- ◎ 個人の意見を平等に扱おう！

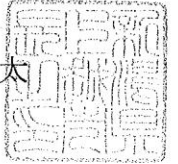
令和5年度第3回新道区地域協議会
令和5年6月27日
2議題 (1) 諮問事項
資料1-1



上観第 13979 号
令和 5 年 6 月 5 日

新道区地域協議会
会 長 船崎 聡 様

上越市長 中 川 幹 太
(文化観光部観光振興課)



上越観光物産センターの廃止について (諮問)

下記の事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第2項の規定により意見を求めます。

記

諮問第 17 号 上越観光物産センターの廃止について
※ 諮問内容については、別紙のとおり

[諮問理由]

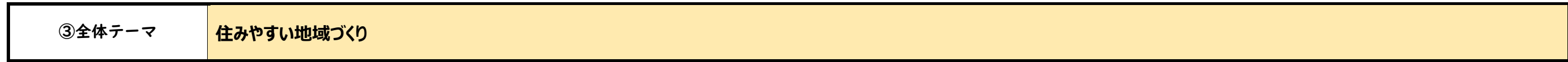
令和5年4月1日から休止中である上越観光物産センターについて、民間事業者による利活用の提案があったことから、民間事業者での活用に向け、公の施設として廃止することに関し、新道区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの。



別紙

現況	諮問内容
<p>1 目的 地域の物産を広く紹介し、その販路拡大による地域経済の活性化と観光の振興を図るため、観光物産センターを設置する。</p> <p>2 名称及び位置 上越観光物産センター（上越市大字藤野新田 175 番地 1）</p> <p>3 施設 (1) 大ホール (2) ふるさとコーナー (3) OA 情報コーナー (4) 中ホール (5) 会議室 (6) 展示ギャラリー (7) その他附属施設</p> <p>4 利用時間 午前 9 時から午後 9 時まで</p> <p>5 休館日 月曜日</p> <p>6 その他 令和 5 年 4 月 1 日から休止中</p>	<p>1 廃止予定日 令和 5 年 9 月末</p>

新道区における「地域活性化の方向性」



②構成要素	
分野	
地域交流	住民同士の交流
防災・防犯	安全・安心な生活環境
環境、景観保全	関川河川敷の植栽活動

①新道区地域協議会委員から寄せられた「構成要素」		
分野	課題、提案、要望	問題
地域振興、にぎわい・交流	<ul style="list-style-type: none"> 関川河川敷の活用による交流広場の整備 若者の創意工夫を活かした稲田商店街の活性化 地域活動の充実を図り、人材育成の推進 住民の連帯感を生むための地域交流イベントの実施 子どもから大人まで住み続けたいと思う地域づくり 地域の主要施設、店舗のマップや商品等の案内づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 若者の減少により地区の活気が薄い
防災・防犯、安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪から住民を守る防犯対策の取組の推進 水害を始めとする災害対策 安全・安心な通学路の確保 	
福祉、医療	<ul style="list-style-type: none"> 病院や大学との連携による健康維持交流 	
歴史、文化顕彰	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の伝統行事の継承 	
産業	<ul style="list-style-type: none"> 上沼道の開通を見据えた、商業施設の誘致（稲田地区） 地場産業の興隆 地域住民がやりがいを持って働ける場づくり 	
子育て	<ul style="list-style-type: none"> 地域一体となった子どもを育む体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが安心して遊べる環境がない
環境、景観保全	<ul style="list-style-type: none"> 関川河川敷の植栽活動 	
インフラ、施設整備	<ul style="list-style-type: none"> 人々が集える集会施設の整備 県道・板倉直江津線の整備 点在する商業施設へ安心してアクセスできる道路等の整備 関川河川敷を利用した交流スペースの整備 	
人口減少、空き家対策、移住促進	<ul style="list-style-type: none"> 空き家活用や管理対策 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の増 高齢世帯の増
特徴		
歴史、文化顕彰	<ul style="list-style-type: none"> 稲田の雁木（町並み）整備 古くからの伝統行事、史跡（諏訪神社、光明寺）や偉人 	
地域振興、にぎわい・交流	<ul style="list-style-type: none"> 稲田祇園祭 他 行事 	
人口減少、空き家対策、移住促進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の利便性、居住性が良い 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 関川に沿って市街地、商業施設、病院、個人医院が多くあり、中部では、農業地帯も広く生活環境にとっても恵まれている地区である。 	

課題 …問題に対応すべく取組むべき内容
 提案 …課題解決等のために取り組む具体的な事業提案（地域自らの取組）
 要望 …市等他組織、団体などに実施を望む意見（市等への提案を含む）
 問題 …地域で抱える問題

新道区における地域活性化の方向性

《新道区の地域活性化に向けて》

住みやすい地域づくり

○ 構成要素 (分野)

・ 住民同士の交流 (地域交流)

・ 安全・安心な生活環境 (防災・防犯)

・ 関川河川敷の植栽活動 (環境・景観保全)